

事業所名 児童発達支援事業所 マイソミ

支援プログラム (参考様式)

作成日 2025年 1月 28日

法人 (事業所) 理念		「いつまでも健やかにいきいきと安心して暮らし続けたい」 その願いを叶える核となります						
支援方針		【まんなか】 お子さんを中心としたニーズにお応えできるよう支援をしていきます。遊び・運動・自然を通してお子さんの持つ力を伸ばしていきます。 【いっしょに】 地域で子ども達に分け隔てなく一緒に育って行けるようイベントや多様な交流の機会を作ります。 【そのまんま】 お子さんの強みを伸ばし、自分らしくいられる場を作り自己肯定感を育みます						
営業時間		9 時	30 分から	15 時	30 分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の体調確認の為、検温等行い元気に一日を過ごせるようご支援します。 児童に合わせた一日のスケジュールを決め、見通しが持てる安心した環境の中で生活リズムを身に付けられるようご支援します。 個別支援計画に基づき、個別の目標に合わせた生活課題を楽しみながら達成できるようご支援します。						
	運動・感覚	ホールでの粗大運動、自然の中で沢山の遊びや運動を通して感覚・欲求充足を目指します。 運動に苦手意識のあるお子さんでも楽しめる運動プログラムを自主的に選択できるよう仕組み作りをします。 児童一人一人の感覚特性に対するアセスメントを行ない、個別の配慮や就学時に向けた支援の検討を行います。						
	認知・行動	はじまりの会やおわりの会で曜日・天気・月日等の確認を行い、その認識を育みます。 個別に合わせた一日のスケジュールや時間の確認を行い、時間感覚を育みます。 児童が主体的に取り組めるよう、分かりやすい環境設定や行動を起こせる構造化を行ないます。						
	言語 コミュニケーション	児童の強みに着目し、出来た事や頑張った事を沢山お伝えします。 児童との対話を通して、お子さんのニーズや意思決定・意思形成を支援します。 児童の理解しやすい方法でのコミュニケーションを取り、対人関係における基本的信頼感を育みます。						
	人間関係 社会性	それぞれの個性をそのまま受け入れられる環境の中で自己肯定感を育みます。 地域の中で多様な交流を通して、地域の中で自分らしく生活を送れるようその機会を創出します。 児童が相談しやすい体制を構築し、一緒に考え一緒に行動をしていきます。						
家族支援		「ご家族が元気である事で児童も元気になる」という方針の基、ご家族の相談支援も丁寧に行って行きます。ご家族同士がつながり、お話しの機会を作れるようイベント等企画します。			移行支援	就学前に小学校や保育園との連携を密に取りながら、情報共有を行ない、児童が安心してスムーズな移行が行えるよう会議等参加していきます。		
地域支援・地域連携		東御市子どもサポートセンター、東御市民病院、圏域の相談支援事業所や他事業所と連携を図りながら、児童が地域で育つ為の支援を行います。			職員の質の向上	児童発達、保育、自閉症スペクトラム障がい、強度行動障がい等研修に参加し、その内容を定期研修会で職員全員に共有します。営業後にはアフターミーティング実施し、支援のPDCAサイクルを回していきます。		
主な行事等		・園外保育 (地域へおでかけ) ・デイサービス等他事業所と交流・避難訓練、不審者訓練・おはなしたまごへ参加・ボランティアの絵本、紙芝居等読み聞かせ・マイソミお話会の開催 お花見(4月)、遠足(5.9月)、七夕(7月)、ハロウィン(10月)、クリスマス会・お餅つき(1月)、節分(2月)、ひな祭り・卒園式(3月)						